

安全で安心なまちづくり

～地域の安全を守る人々～

4年社会 9月下旬 48Q〈16時間〉

1 単元のねらい

- 地域社会における交通事故の防止や防犯の取組について調べることを通して、警察署や関係の諸機関、地域の人々が、互いに協力したり共に助け合ったりして、地域の安全を守る工夫や努力をしていることがわかり、自分も地域社会の一員として、自分の安全は自分で守ることの大切さを自覚できるようにする。

〔(4)〕

- ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。
- イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。


2 身に付けさせたい知識や技能のとらえ

- ・交通事故や事件に遭わないように、誰かに安全を守ってもらうのではなく、自分の安全は自分で守ることが大切である

3 単元の計画

	【学習活動】	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ わたしたちの命や財産がどのように守られているか話し合う。 ・警察の人たちがわたしたちの地域の安全を守ってくれている。 <p>【単元を貫く課題】 どうしたら事故や事件のない、安全で安心なまちになるだろうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新潟市内で起きた事故・事件の資料を提示し、感じたことを問う。 ◆ わたしたちの命や財産がどのようにして守られているのかを問う。 	15 Q
	<p>○ 警察署が地域の安全を守ってくれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察署は、地域の安全を守るためにどんなことをしているのだろう。 ○ 警察署の働きを調べる。 ○ 詳しく知りたいことや質問したいことをまとめ、見学の計画を立てる。 ○ 新潟中央警察署へ見学に行く。 ・見学をして分かったことや驚いたことをノートにまとめる。 ・疑問に思ったことを質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の安全を守るための警察署の働きを問う。 ◆ 本やインターネットで警察署の働きを調べさせる。 ◆ 詳しく知りたいことや、質問したいことをまとめさせ、見学の視点をもたせる。 ◆ 見学へ行き、分かったことや驚いたことをノートにまとめさせる。 ◆ 疑問に思ったことをインタビューさせる。 	
二 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて分かった交通事故や犯罪を防ぐ警察署の人々の働きを発表する。 ・普段から事件や事故防止に取り組んでいる。 ○ 地域の人々が、警察署と同じような活動をしている目的や願いを考える。 <p>【学習問題】 どうして地域の人たちが警察署と同じような活動をしているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 調べて分かった警察署の働きを問う。 ◆ 「青色防犯パトロールカー」の写真と、活動内容をまとめた資料を提示し、気になることを問い、学習問題を設定させる。 	21 Q
	<ul style="list-style-type: none"> ・下校途中でこの車を見たことがあるよ。 ・今朝横断歩道で交通誘導をしている人に会ったよ。 ・ぼくたちが事故や犯罪に遭わないように、活動しているんだよ。 ○ 活動写真を基に、学習問題に対する考えを交流する。 ・地域の人々が事故や事件に遭わないように、活動しているのだろう。 ・地域の人々に事故や事件に気を付けてもらうために活動しているのだろう。 ○ ゲストティーチャーに質問して、 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の人たちが、登下校時に横断歩道で交通誘導をしているVTRを提示し、子どもの生活経験を問う。 ◆ 学習問題に対する予想をワークシートに書かせる。 ◆ 地域の人たちが、交通安全の声掛けや防犯の訪問指導などを行っている写真を提示し、学習問題についての考えを交流させ、どのような仮説が考えられるかを問う。 	



<p>二 次</p>	<p>仮説を確かめ、分かったことを発表する。</p> <p>○ 警察署だけでなく、地域の人たちも協力して地域の人々の安全を守る活動をしているから安心だ。</p> <p>○ なぜ交通事故や事件が起こるのかを考える。</p> <p>【学習問題】 警察や地域の人たちが安全を守ってくれているのに、何でこんなに交通事故や事件が起こるのだろうか。</p> <p>○ 実際の交通事故の事例から、事故の原因を考える。 ・安全に気を付けていない人がいるから事故や事件が起こるのだろう。</p> <p>○ 自分たちのVTRを基に、学習問題に対する考えを交流する。 ・自分で安全を守っていないから、事故や事件が起こるのだろう。</p> <p>○ ゲストティーチャーの話聞いて、分かったことを発表する。</p> <p>○ 誰かに安全を守ってもらうのではなく、自分の安全は自分で守ることが大切だ。</p> <p>○ 身の回りにある安全を守るための工夫を調べ、どうしたら事故や事件のない安全で安心なまちになるかを考える。</p>	<p>◆ 仮説を確かめるために必要な情報や方法を予想させ、ゲストティーチャーに聞いて仮説を確かめさせ、分かったことを問う。</p> <p>◆ 昨年新潟市内で起きた事故・事件の資料を提示し、疑問に思うことを問う。</p>  <p>◆ 実際に起きた子どもの交通事故の事例を提示して事故の原因を問い、学習問題に対する考えを記述させる。</p> <p>◆ 子どもが横断歩道を渡っているVTRを提示し、学習問題に対する考えを交流させ、どのような仮説が考えられるかを問う。</p> <p>◆ 地域の安全を守る活動をしている人が、安全を守りきれないという話を聞かせ、分かったことを問う。</p> <p>◆ 信号機や横断歩道、歩道の縁石の写真提示し、これらに共通することを問う。</p> <p>◆ 他にも交通事故防止や防犯のための工夫があるかどうかを問う。</p> <p>◆ 学校の周りを調査させ、気付いた工夫を発表させる。</p> <p>◆ どうしたら事故や事件のない安全で安心なまちになるかを問う。</p>
<p>三 次</p>	<p>○ 交通事故や事件が起こったとき、どのようなことが行われているかを予想する。 ・消防車や救急車が来ているので、消防署に連絡が行っている。 ・テレビで伝えられているので、テレビ局にも連絡が行っている。</p> <p>【学習問題】 どうして110番するだけなのに、いろいろな人たちに伝わるのだろうか。</p> <p>○ 学習問題についての予想を立て、見学の計画を立てる。 ・教科書や図書資料を調べ、予想を立てる。 ・予想を発表し、見学の視点をもつ。</p> <p>○ 新潟県警察本部に見学に行き、事故や事件が起きたときの連携の仕組みを調べる。</p> <p>○ 調べて分かった、警察署と関係機関の連携の仕組みを発表する。</p> <p>○ 事故や事件が起きたときにも、警察署だけでなく、多くの関係機関が協力・連携して解決している。</p>	<p>◆ 交通事故の処理を行っている写真を提示し、事故や事件が起こったとき、どのようなことが行われているかを問う。</p> <p>◆ 事故や事件が起こったら、110番することを想起させ、疑問を焦点化して学習問題を設定させる。</p> <p>◆ 学習問題に対する予想をワークシートに書かせる。</p> <p>◆ 詳しく知りたいことや、質問したいことをまとめさせる。</p> <p>◆ どうしたら確かめられそうか問い、見学の計画を立てさせる。</p> <p>◆ 見学へ行き、分かったことや驚いたことをノートにまとめさせる。</p> <p>◆ 疑問に思ったことをインタビューさせる。</p> <p>◆ 調べて分かった事故や事件の解決の仕組みを問う。</p>

12
Q

4 準備するもの及び留意点

- 新潟市中央警察署・新潟県警察本部（見学先）
- 地域で交通指導等をしてくださる方
- 交通事故や事件の発生データ・交通事故資料
- 地域の人たちの活動写真

5 内容の関連

